

エコクリーンプラザみやざき 排出源等及び環境モニタリング調査結果について（平成27年1月調査分）

（公財）宮崎県環境整備公社では、エコクリーンプラザみやざきの安心・安全な施設運営が行われていることを確認するために、公害防止協定に基づき、モニタリング調査（排出源等モニタリング調査、環境モニタリング調査）を定期的に行っております。平成27年1月に実施しました調査結果につきましては、以下のとおりです。

平成27年 2月 27日
公益財団法人宮崎県環境整備公社

○排出源等モニタリング — 焼却溶融炉のばい煙調査

調査地点	1号焼却炉	2号焼却炉	3号焼却炉	評価基準
試料採取日	平成27年1月16日	平成27年1月15日		
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	宮崎県環境科学協会		
検査項目				
01. ばいじん	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満	0.01 以下
02. 硫黄酸化物	ppm	10未満	10未満	50 以下
03. 塩化水素	ppm	30未満	30未満	80 以下
04. 窒素酸化物	ppm	51	55	100 以下
05. 一酸化炭素	ppm	10未満	10未満	30 以下
06. ダイオキシン類	ng-TEQ/m ³ N	分析中	分析中	0.1 以下

調査結果の評価

1月の調査は、01から06の検査項目を実施しました。調査の結果、全ての検査項目で評価基準値を満足していました。なお、06.ダイオキシン類の検査項目については、(株)静環検査センターが試料を採取し、現在、測定分析を行っているところです。



焼却溶融施設

○環境モニタリング — 公共用水域（周辺河川）の水質調査

調査地点	上畑川上流堰	石崎川無名橋	だら池流入水	評価基準
試料採取日	平成27年1月29日	同左	同左	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	同左	同左	
検査項目				
01. 水素イオン濃度 (pH)	7.7	7.7	7.9	6.5 以上 8.5 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.0	0.6	3 以下 (だら池は2以下)
03. 浮遊物質量 (SS)	mg/L	55	1	25 以下
04. 溶存酸素 (DO)	mg/L	10	11	5 以上 (だら池は7.5以上)
05. 大腸菌群数 (最確数法)	MPN/100ml	33000	780	5,000 以下 (だら池は1,000以下)
06. 化学的酸素要求量	mg/L	5.6	2.4	(参考値)
07. 窒素含有量 (全窒素)	mg/L	1.7	1.2	(参考値)
08. 電気伝導率 (EC)	mS/m	38	23	(参考値)
09. 透視度	cm	7	100以上	(参考値)
10. 塩化物イオン	mg/L	16	8.8	(参考値)
11~19. カドミウム等(※1)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
20~39. PCB等(※2)	mg/L	測定月でない	測定月でない	項目により個別に設定
40. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	分析中	分析中	1 以下

調査結果の評価

1月の調査は、01から10及び40の調査項目を実施しました。調査の結果、上畑川上流堰で浮遊物質量、大腸菌群数が評価基準値を満足していませんでした。このうち浮遊物質量と、透視度の値が小さいことについては、1月中に実施した防災調整池の浚渫工事の影響（水の濁り）の可能性が考えられます。なお、40.ダイオキシン類の検査項目については、試料を採取し、現在、測定分析を行っているところです。

※1：検査項目は、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀など9項目（別紙）
※2：検査項目は、PCB、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素など20項目（別紙）



上畑川上流堰

石崎川無名橋

だら池流入水

○排出源等モニタリング — 防災調整池排水（敷地境界）調査

調査地点	敷地境界排水	評価基準
試料採取日	平成27年1月29日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度 (pH)	8.0	5.8 以上 8.6 以下
02. 生物化学的酸素要求量	mg/L	2.0
03. 浮遊物質量 (SS)	mg/L	120
04. 大腸菌群数	個/cm ³	70
05. 大腸菌群数 (最確数法)	MPN/100ml	13000
06. 化学的酸素要求量	mg/L	9.6
07. 窒素含有量	mg/L	2.0
08. 電気伝導率 (EC)	mS/m	48
09. 透視度	cm	4
10. 溶存酸素	mg/L	10
11. 塩化物イオン	mg/L	16
12~31. 鉱物油等(※3)	mg/L	測定月でない
32~48. PCB等(※4)	mg/L	測定月でない
49. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	分析中



防災調整池排水（敷地境界）

調査結果の評価

1月の調査は、01から11及び49の検査項目を実施しました。調査の結果、全ての検査項目で評価基準値を満足していましたが、浮遊物質量及び透視度については、通常と変化が見られました。これは、1月中に実施した防災調整池の浚渫工事の影響（水の濁り）の可能性が考えられます。なお、49.ダイオキシン類の検査項目については、(株)静環検査センターが試料を採取し、現在、分析を行っているところです。

※3：検査項目は、鉱物油、動植物性油、銅、シアン化合物、鉛、六価クロム、ほう素など20項目（別紙）
※4：検査項目は、PCB、トリクロロエチレン、シマジン、ベンゼン、セレンなど17項目（別紙）

○排出源等モニタリング — 浸出水調整池地下水

調査地点	浸出水調整池地下水	評価基準
試料採取日	平成27年1月14日	
試料採取・分析者	宮崎県環境科学協会	
検査項目		
01. 水素イオン濃度 (pH)	7.7	(参考値)
02. 電気伝導率 (EC)	mS/m	56
03. 塩化物イオン	mg/L	10
04. カドミウム	mg/L	0.0003未満
05. 全シアン	mg/L	不検出
06. 鉛	mg/L	0.005未満
07. 六価クロム	mg/L	0.01未満
08. 砒素	mg/L	0.005未満
09. 総水銀	mg/L	0.0005未満
10. アルキル水銀	mg/L	不検出
11. 透視度	cm	20
12~32. PCB等(※5)	mg/L	評価基準値内
33. ダイオキシン類	pg-TEQ/L	分析中



浸出水調整池地下水

調査結果の評価

1月の調査は、01から33の検査項目を実施しました。調査の結果、全ての検査項目で評価基準値を満足していましたが、33.ダイオキシン類の検査項目については、(株)静環検査センターが試料を採取し、現在、測定分析を行っているところです。

※5：検査項目は、PCB、ジクロロメタン、チウラム、セレン、フッ素など21項目（別紙）

注）調査結果表の「未満」と表示されている値は、定量限界を下回ることです。また、「検出されないこと」とは、環境大臣が定める測定方法で測定した場合において、その結果が当該測定方法の定量限界を下回ることをいいます。（特記事項）

・過去の調査結果等は、北地域センター、佐土原総合支所地域総務課、国富町役場町民生活課に備え置いてあります。